



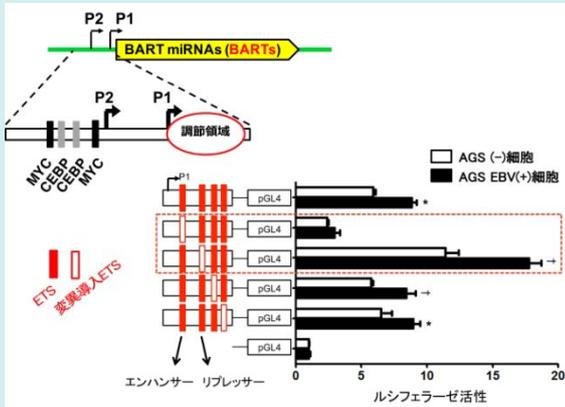
Epstein-Barrウイルス関連癌に特異的な抗腫瘍剤

吉山 裕規(医学部)

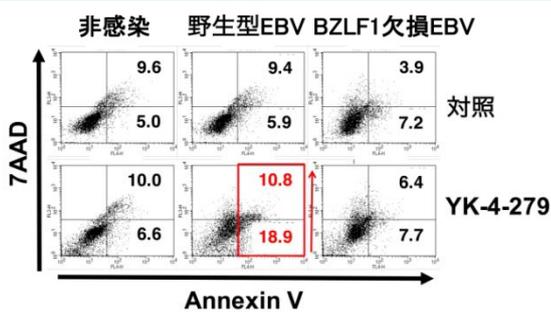
本研究に関連する特許
1) 特願2017-160164

新技術の内容

BARTsの新しい転写調節領域を同定



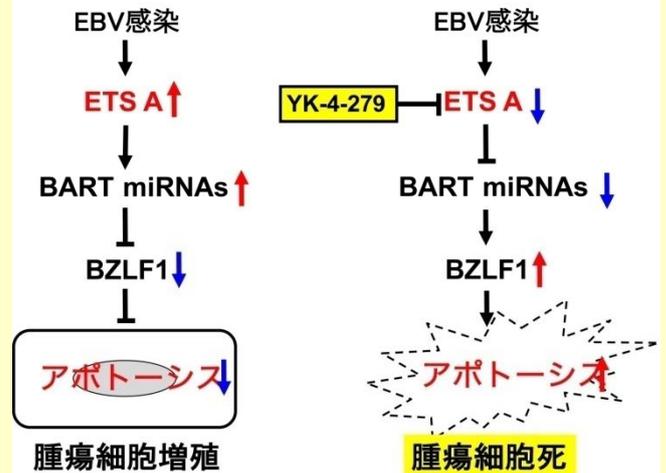
YK-4-279はEBVの溶解感染を誘導し、感染細胞をアポトーシスに導く



新技術の特徴・優位性

- ETSファミリー遺伝子の阻害は、EBV潜伏感染細胞に**特異的にアポトーシスを引き起こした**。
- US 20050221490 A:「核酸誘導体を用いたDNAウイルス由来miRNA阻害剤」は、転写を抑制できない。**(転写抑制の方が効果的)**
- ユーイング肉腫の治療薬として、前臨床試験が終了した**YK-4-279**が、EBV感染細胞にアポトーシスを誘導できた。

YK-4-279の作用機序



【応用例】

- Epstein-Barrウイルス関連胃癌や上咽頭癌，口腔がんなどのEBV関連上皮性腫瘍の治療薬
- 腫瘍以外に，慢性活動性EBウイルス増殖症などの重篤感染症の治療薬

【研究シーズ，特許に関するお問い合わせ先】

島根大学 地域未来協創本部 地域医学共同研究部門

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町223-8

電話:0853-20-2912 FAX:0853-20-2913 電子メール:cmrc@med.shimane-u.ac.jp